



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場取引所 東・名

上場会社名 日本ガイシ株式会社  
 コード番号 5333 URL <https://www.ngk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 神藤 英明 (TEL) 052-872-7230  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	194,942	△11.3	11,573	△63.4	12,218	△58.8	7,267	△65.8
2020年3月期第2四半期	219,766	△3.7	31,643	△11.4	29,679	△13.3	21,244	△14.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 12,357百万円(107.1%) 2020年3月期第2四半期 5,967百万円(△81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.96	22.92
2020年3月期第2四半期	66.02	65.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	852,136	473,622	54.4
2020年3月期	833,085	469,118	55.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 463,136百万円 2020年3月期 458,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	△1.6	42,000	△23.6	43,000	△17.2	28,000	3.2	88.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	322,211,996株	2020年3月期	322,211,996株
2021年3月期2Q	5,639,512株	2020年3月期	5,668,060株
2021年3月期2Q	316,557,312株	2020年3月期2Q	321,807,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(その他の注記事項) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、段階的な経済活動の再開により第1四半期を底として持ち直しの動きが見られました。海外では、米国や欧州などで経済活動の抑制によって厳しい状況となりましたが、各国の財政・金融政策が下支えとなり世界経済は緩やかな回復の兆しが見られました。足元では、中国経済の回復が続く一方、欧州では感染が再拡大しており、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、エネルギーインフラ事業では、国内電力会社の設備投資抑制により配電製品を中心に需要が低調でした。セラミックス事業では、中国市場を中心に自動車販売や生産が回復しつつあるものの、新型コロナウイルスの影響により世界の乗用車販売台数が落ち込み自動車関連製品の出荷が大幅に減少しました。エレクトロニクス事業では、デジタル化の進展によってSAWフィルター用複合ウエハーやHDD用圧電素子の需要は増加したものの、中国の携帯マクロ基地局投資の停滞を背景にセラミックパッケージの需要が減少しました。プロセステクノロジー事業では、3D NAND向け投資等の増加を背景に半導体製造装置用製品の物量が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比11.3%減の1,949億42百万円となりました。利益面では、セラミックス事業の売上高の減少に加え、減価償却費の増加等により営業利益は前年同期比63.4%減の115億73百万円、経常利益は同58.8%減の122億18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同65.8%減の72億67百万円となりました。

セグメント別には、エネルギーインフラ事業では売上高は前年同期比5.8%減の194億40百万円、営業損益は22億80百万円の営業損失（前年同期は24億18百万円の営業損失）、セラミックス事業では売上高は同23.3%減の982億90百万円、営業利益は同78.5%減の66億43百万円、エレクトロニクス事業では売上高は同5.2%減の268億7百万円、営業利益は同53.5%増の6億46百万円、プロセステクノロジー事業では売上高は同17.6%増の518億65百万円、営業利益は同142.8%増の65億54百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より「電力関連事業」は「エネルギーインフラ事業」へ改称しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて190億50百万円増加の8,521億36百万円となりました。これは主としてその他流動資産やたな卸資産が減少した一方で、現金及び預金、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて145億46百万円増加の3,785億13百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金や短期借入金、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産合計は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が増加し、前連結会計年度末に比べ45億3百万円増加の4,736億22百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期につきましては、COVID-19の再拡大の懸念は残るものの、中国をはじめとして自動車市場は想定を上回るペースで回復し、前期比での落ち込み幅を縮小できる見通しです。下半期も当面は自動車産業のサプライチェーン回復が維持できると見ており、当社の自動車関連製品の需要は前回予想を上回る見込みです。

2021年3月期通期の見通しにつきましては、全社での経費削減効果やセラミックス事業の売上増、操業度改善効果により、全社売上高、各利益共に前回予想を上回る見通しです。

なお、下期の為替レート前提は、1米ドル105円、1ユーロ115円としております。

(期中平均為替レート1米ドル106円、1ユーロ118円)

2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	420,000	33,000	34,000	21,000	66.35
今回修正予想 (B)	435,000	42,000	43,000	28,000	88.45
増減額 (B-A)	15,000	9,000	9,000	7,000	—
増減率 (%)	3.6	27.3	26.5	33.3	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	441,956	55,000	51,952	27,135	84.73

業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しており、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,160	101,794
受取手形及び売掛金	101,377	100,565
有価証券	31,016	30,682
たな卸資産	157,389	156,026
その他	28,583	20,342
貸倒引当金	△153	△124
流動資産合計	398,374	409,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	106,886	117,041
機械装置及び運搬具（純額）	168,550	173,716
その他（純額）	83,970	77,271
有形固定資産合計	359,407	368,029
無形固定資産	3,460	4,243
投資その他の資産		
投資有価証券	49,996	51,622
その他	22,485	19,572
貸倒引当金	△639	△619
投資その他の資産合計	71,842	70,575
固定資産合計	434,710	442,848
資産合計	833,085	852,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,241	35,156
短期借入金	6,407	17,661
1年内返済予定の長期借入金	9,218	21,564
未払法人税等	※1 12,225	※1 5,584
N A S 電池安全対策引当金	1,657	1,527
競争法関連損失引当金	1,145	58
その他	40,393	40,185
流動負債合計	114,289	121,738
固定負債		
社債	25,000	25,900
長期借入金	193,773	200,507
退職給付に係る負債	21,012	21,202
その他	9,891	9,164
固定負債合計	249,677	256,774
負債合計	363,966	378,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	70,199	70,176
利益剰余金	345,688	345,042
自己株式	△11,264	△11,207
株主資本合計	474,473	473,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,336	13,329
繰延ヘッジ損益	△461	△343
為替換算調整勘定	△21,390	△18,952
退職給付に係る調整累計額	△5,406	△4,757
その他の包括利益累計額合計	△15,921	△10,723
新株予約権	828	874
非支配株主持分	9,737	9,611
純資産合計	469,118	473,622
負債純資産合計	833,085	852,136

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	219,766	194,942
売上原価	151,539	150,641
売上総利益	68,227	44,301
販売費及び一般管理費	36,583	32,727
営業利益	31,643	11,573
営業外収益		
受取利息	267	119
受取配当金	706	587
為替差益	—	636
デリバティブ評価益	103	200
その他	576	2,110
営業外収益合計	1,653	3,654
営業外費用		
支払利息	1,473	1,689
持分法による投資損失	558	609
為替差損	394	—
その他	1,191	710
営業外費用合計	3,617	3,009
経常利益	29,679	12,218
特別利益		
固定資産売却益	193	203
投資有価証券売却益	311	332
補助金収入	—	325
特別利益合計	505	861
特別損失		
固定資産処分損	277	89
減損損失	1,353	874
特別損失合計	1,631	964
税金等調整前四半期純利益	28,553	12,114
法人税、住民税及び事業税	8,013	3,601
法人税等還付税額	△425	—
法人税等調整額	80	1,461
法人税等合計	7,668	5,062
四半期純利益	20,885	7,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△359	△214
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,244	7,267

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	20,885	7,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,931	1,990
繰延ヘッジ損益	129	118
為替換算調整勘定	△12,354	2,544
退職給付に係る調整額	224	496
持分法適用会社に対する持分相当額	14	154
その他の包括利益合計	△14,917	5,305
四半期包括利益	5,967	12,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,575	12,464
非支配株主に係る四半期包括利益	△607	△107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(移転価格税制に基づく更正処分に対して提起した取消訴訟について)

当社は、2007年3月期から2010年3月期までの事業年度におけるポーランド子会社との取引に関し、2012年3月に名古屋国税局より移転価格税制に基づき受けた更正処分(追徴税額約62億円)につき、2016年12月に東京地方裁判所に対して取消訴訟を提起しており、現在も同裁判所において審理中です。

上記の更正処分に続き、当社は、2011年3月期から2015年3月期までの事業年度における上記ポーランド子会社との取引に関しても同様に、2017年6月に名古屋国税局より移転価格税制に基づく更正処分を受け、地方税を含めた追徴税額約85億円を納付いたしました。処分の取消しを求め、2018年7月に名古屋国税不服審判所へ審査請求を行い、2019年7月に当該処分を一部取り消す旨の裁決書を受領しておりました。しかしながら、この段階では法人税額・地方税額等約4億円の還付に止まったことから、当社としては全額が取り消されるべきと考え、2019年12月に東京地方裁判所に対し更正処分の取消訴訟を提起しました。

なお、2016年3月期以降の連結会計年度につきましては上記の経緯を踏まえ、同様の課税を受けるとした場合の税額を見積り、四半期連結財務諸表に反映しております。

(その他の注記事項)

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. 未払法人税等

ポーランド子会社と当社の取引に関し、2017年6月に移転価格税制に基づく更正処分の通知を受領したため、2016年3月期から各連結会計期間について同様の課税を受けるとした場合の見積税額を含んでおります。

2. 偶発債務

当社グループは、競争状況に関して国際的な調査の対象となっております。2011年に当社の米国子会社が米国司法省より文書提出命令を受領し、当社は、自動車用触媒担体に関する当該調査に対し、2012年に独立委員会を設置するなど協力してきました。2015年9月には、当社は米国司法省との間で自動車用触媒担体の取引の一部に関して米国反トラスト法違反などがあったとして、罰金6,530万米ドルを支払うことを主な内容とする司法取引に合意し、2015年11月に全額を支払いました。また、関連する顧客とは損害賠償の交渉を行っており、一部では支払いを要するほか、民事訴訟(集団訴訟)も提起されております。

こうした進捗に鑑み、将来発生しうる損失について見積りを行い、当第2四半期連結会計期間末における見積額を「競争法関連損失引当金」として計上しておりますが、新たな事実が判明した場合には追加の損失が発生する可能性があります。なお、調査及び交渉の内容等については、当社グループの立場が不利になる可能性があるため、開示しておりません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー インフラ 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス 事業	プロセス テクノロジー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,595	128,176	28,271	42,723	219,766	—	219,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	8	1	1,375	1,420	△1,420	—
計	20,631	128,185	28,272	44,098	221,187	△1,420	219,766
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△2,418	30,932	421	2,699	31,634	9	31,643

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円は、セグメント間取引の調整であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー インフラ 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス 事業	プロセス テクノロジー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,115	98,287	26,805	50,732	194,942	—	194,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324	3	1	1,132	1,461	△1,461	—
計	19,440	98,290	26,807	51,865	196,403	△1,461	194,942
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△2,280	6,643	646	6,554	11,563	9	11,573

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円は、セグメント間取引の調整であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「電力関連事業」と表示していた報告セグメントの名称について「エネルギーインフラ事業」に変更しております。この変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

2021年3月期 第2四半期決算発表 補足資料

2020年10月30日  
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は'20/9公表値

□ は'20/9公表値

	2020年3月期 第2四半期累計		2021年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		前期比		
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比			
売上高合計	2,198	100%	1,950	1,949	100%	△11%	4,420	100%	4,200	4,350	100%	△2%
<海外売上高合計>	<1,552>	71%	<1,362>		70%	△12%	<3,098>	70%	<3,000>		69%	△3%
営業利益 (率)	316 (14%)		100	116		△63%	550 (12%)		330	420		△24%
エネルギーインフラ事業 <sup>※1</sup>	206	9%	200	191	10%	△7%	433	10%	430	430	10%	△1%
営業利益 (率)	△24 (-)		△25	△23		-	△49 (-)		△45	△45		-
セラミックス事業	1,282	58%	980	983	50%	△23%	2,518	57%	2,100	2,250	52%	△11%
営業利益 (率)	309 (24%)		60	66		△79%	535 (21%)		250	330		△38%
エレクトロニクス事業	283	13%	270	268	14%	△5%	554	13%	570	570	13%	+3%
営業利益 (率)	4 (1%)		5	6		+53%	0 (0%)		15	20		-
プロセステクノロジー事業	427	19%	500	507	26%	+19%	915	21%	1,100	1,100	25%	+20%
営業利益 (率)	27 (6%)		60	66		+143%	64 (7%)		110	115		+79%

※1 21年3月期より「電力事業本部」を「エネルギーインフラ事業本部」へ改称

	売上高比	売上高比	前年 同期比	売上高比	売上高比	前期比		
経常利益	297 (14%)	100	122 (6%)	△59%	520 (12%)	340	430 (10%)	△17%
親会社株主に帰属する 当期純利益	212 (10%)	50	73 (4%)	△66%	271 (6%)	210	280 (6%)	+3%
ROE	-	-	-	5.8%	6.0%			
1株当たり純利益	66.02円	22.96円	84.73円	88.45円				
配当金(配当性向)	25円	10円	50円(59.0%)	30円(33.9%)				

為替レート(円/USD)

109

107

109

106

為替レート(円/EUR)

121

121

121

118

設備投資	499	23%	290	15%	△42%	940	21%	580	13%	△38%
減価償却費	189	9%	217	11%	+15%	396	9%	460	11%	+16%
研究開発費	106	5%	107	5%	+1%	229	5%	230	5%	+0%

**第2四半期累計期間の要点・・・対前年同期比減収・減益(9月公表値から利益を上方修正)**

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【エネルギーインフラ】・・・減収も赤字は前年同期並み  
 ・がいし 国内需要は低調も、費用削減等により赤字を縮小。  
 ・エナジーストレージ 国内外共に出荷は低調。
- 【セラミックス】・・・・・・減収・減益  
 ・自動車関連 中国市場を中心に自動車販売や生産が回復しつつあるものの、新型コロナウイルスによる世界的な自動車販売台数の減少が影響し、大幅な減収・減益。
- 【エレクトロニクス】・・・・減収・利益は前年同期並み  
 ・金属 車載向け需要が減少し、減収・減益。  
 ・パッケージ 携帯マクロ基地局投資の停滞を背景にパッケージ需要が減少し、減収・赤字。
- 【プロセステクノロジー】・・・増収・増益  
 ・HPC ※2 3D NAND向け投資等の増加を背景に需要が増加し増収・増益。
- ② 為替影響: 売上高△12億円、営業利益△7億円  
 前年同期 109円→当期107円/USD、121円→121円/EUR
- ③ 特別損失 固定資産減損損失9億円(パッケージ7億円ほか)
- ④ コロナ影響 物量減少・・・年間影響額※3の殆どが上期に発生。  
 費用対策・・・年間目標※3に対して6割程度の進捗。

※2 HPC・・・半導体製造装置用製品

**通期 見通しの要点・・・対前期比減収、営業利益・経常利益は減益も当期純利益は微増の見通し(9月公表値から売上・利益を上方修正)**

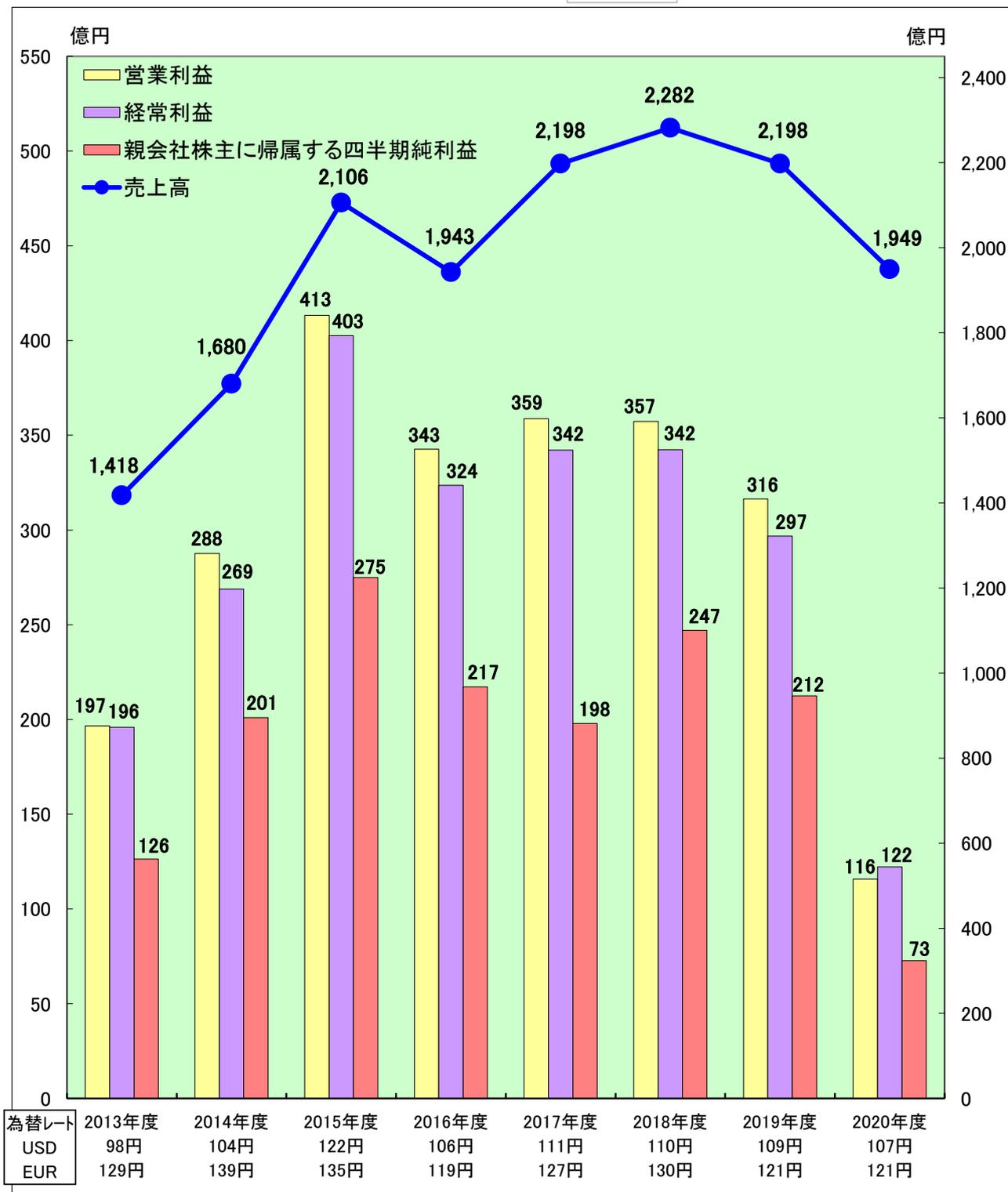
- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【エネルギーインフラ】・・・売上高・営業赤字は前期並み  
 ・がいし 国内需要の低迷は継続する中、費用削減等により赤字縮小の見通し。  
 ・エナジーストレージ 国内外で大口径出荷がなく低調。赤字が継続する見通し。
- 【セラミックス】・・・・・・減収・減益  
 ・自動車関連 下期回復を見込むも、自動車・トラック販売台数減少の影響が大きく、大幅な減収・減益の見通し。
- 【エレクトロニクス】・・・・増収、増益  
 ・電子部品 5G進展による高性能フィルター用ウエハの需要増に加え、データセンター投資の回復を背景としたHDD用圧電素子の需要増により増収・増益の見通し。
- 【プロセステクノロジー】・・・増収・増益  
 ・HPC 20年3月期を底に、メモリ投資の緩やかな回復基調を受けて増収・増益の見通し。  
 ・産業プロセス 低レベル放射性廃棄物処理装置の案件進捗等により増収の見通し。
- ② 為替影響: 売上高 △50億円、営業利益 △14億円  
 ・前期 109円→当期106円/USD、121円→118円/EUR  
 (下期為替前提:105円/USD、115円/EUR)  
 ・下期1円当たりの影響:USD(売上高6億円、営業利益 2.1億円)  
 EUR(売上高3億円、営業利益△0.2億円)
- ③ コロナ影響(※3) 物量減少・・・売上高 △670億円、営業利益 △410億円  
 費用対策・・・ 営業利益 +120億円
- ④ 配当予想 中間10円を決議、期末20円の年間30円を予定。

# 業績概況(連結・上半期)

(億円)

	前上半期(2019年度)	当上半期(2020年度)		前年同期比
売上高	2,198	1,950	1,949	△11%
営業利益	316	100	116	△63%
経常利益	297	100	122	△59%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	212	50	73	△66%

9月公表値



# 業績概況(連結・通期)

(億円)

	前期実績(2019年度)	当期見通し(2020年度)		前期比
売上高	4,420	4,200	4,350	△2%
営業利益	550	330	420	△24%
経常利益	520	340	430	△17%
親会社株主に帰属する 当期純利益	271	210	280	+3%

9月公表値

